（HPM-50S）

取扱説明書

株式会社ユーボン

項目

仕様

ファン
（ファンを塞いだり、上に物を置かないでください、
故障の原因となります。）

操作パネル

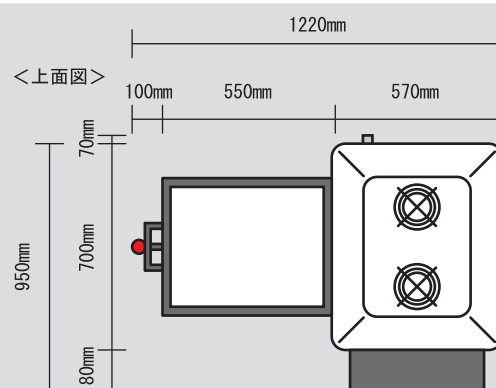
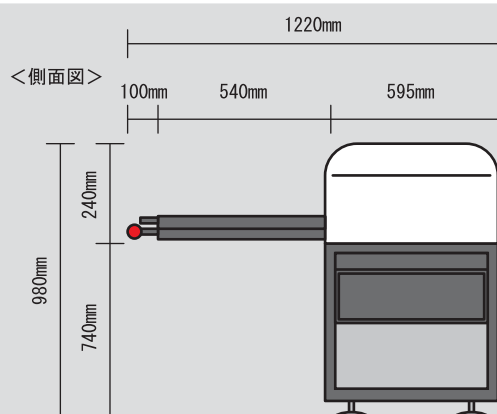
作業台

＜裏側＞

ヒーター電源コード
（外れている場合はヒーターが
作動しませんので接続して下さい。）

電源コード

加熱方式	ヒーター管（遠赤外線）
加熱温度	0～200℃まで設定可能
加圧方式	真空吸着式（真空バキューム）
電源※1	単相 200V 50/60Hz 25A
消費電力	約4250W
加工範囲※2	W500×D400mm 厚さ35mmまで
外形寸法	W950×H980×D670mm（テーブル使用時 D1220mm）（突起物含む）
重量	140kg

※1 ブレーカー容量は30A以上を推奨します。

安全に正しくお使いいただくために

本機を安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は必ず実行していただかなければならない内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

⚠警告

■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、専門のサービス担当者に連絡を取ってください。

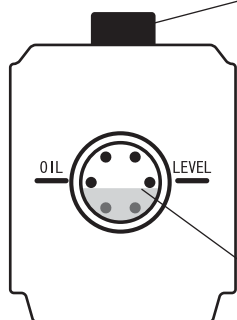
■絶対にカバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機のカバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は専門のサービス担当者にご相談ください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■電気コード、電源プラグの注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードを持って行ってください。コードが傷つき、火災・感電・転倒の原因となることがあります。
- 電源プラグやコードが傷んだら専門のサービス担当者に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となる場合があります。

■真空ポンプの注意

- 真空ポンプ内のオイルが減った場合はつぎ足してください。
  ※オイル残量が真空ポンプに表示されているOIL　LEVELより下になったときが目安です。
  ※つぎ足す場合は別途オイルが必要となります。市販のオイルか弊社からご購入いただけます。（参照価格￥1,000）

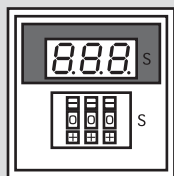
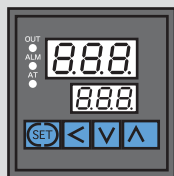
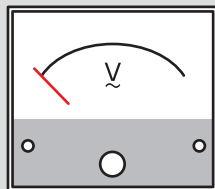
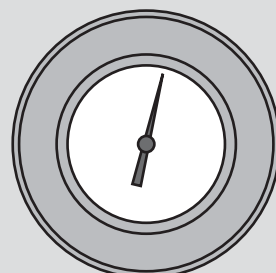
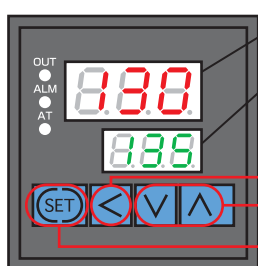
■電源を入れる前に

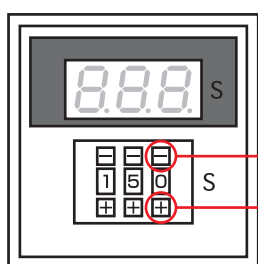
⚠注意

- 室温が７℃以下の場合真空ポンプの回転が悪くなります。モーターに負担がかかりヒューズが飛ぶ恐れがあります。室温を上げてからご使用下さい。

■修理・点検について

- 本機の修理はご自分で行わないでください。次のような場合には電源プラグを抜き、専門のサービス担当者にご連絡ください。
  - 電源コードや電源プラグが損傷した。
  - 本機の内部に液体が入った。
  - 間違った操作をした後、本機がうまく動作しなかった。
  - 本取扱説明書通りに本機が動作しない。

操作パネル

設定温度の変更

1. SETを押して設定温度が点滅します。
2. ∨∧ キーで温度を変更します。
3. SETボタンを押すと、温度が設定されます。

加工時間の変更

時間設定は秒数になります。

⊞、⊟ボタンを押すと0〜9で値を変更出来ます。

※3桁のそれぞれのボタンで時間を設定します。

⚠注意

昇華転写加工を行う前の注意

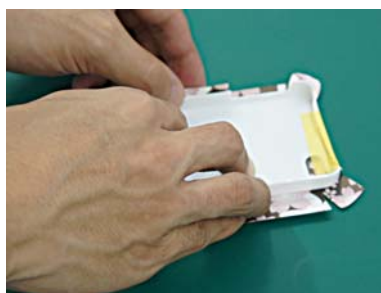
1. ケースに転写する前に、本体及びプレス台を温める必要があります。
   温度が安定するには、約10分程度必要になります。
   ※温度・土台が温まらないまま加工をすると転写不良が発生します。
2. 加工中はテーブル及び土台が高温になりますのでやけどに注意してください。
   土台を触る場合・加工を行い場合には、必ず耐熱用の手袋を使用して作業を行って下さい。

加工手順

例としてiPhoneカバーに絵柄を転写する手順を紹介します。

1. イラストレーターを使用して、テンプレートに合わせてデータを作成する。
2. 転写紙に昇華プリンタで印刷する。
3. 印刷された転写紙をインクが手に付かなくなるまで乾燥させる。
4.

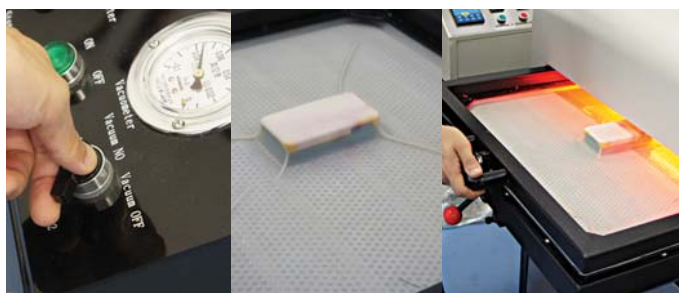
   テンプレートラインに沿って
   転写紙をハサミ等でカットする。

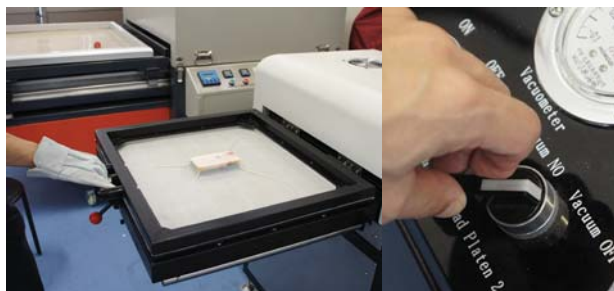
   ※大量の場合には、Co2レーザーや型抜き機で
   ラインに合わせてカットをする事をお勧めします。
5.

   カットした転写紙をカバーに
   耐熱テープ（耐熱温度140℃以上60分対応
   の物を推奨　例:3M和紙テープ343）で
   貼り付けます。
6.

   転写機の電源を入れ、
   温度が安定するまで加熱します。
   加熱中に、金属土台も使用する分を
   一緒に温めてください。

   ※加熱温度は130℃、昇華インク・環境によって変わります。
7.

   タイマーを200秒にセットし、
   耐熱用の手袋（皮手袋など）を使い、
   温まった土台に転写紙を
   取り付けたカバーをはめ込みます。

8.

バキュームレバーをオンにして
真空状態にします。
作業テーブルをスライドさせて
転写が始まります。
※作業テーブルにはiPhoneカバーなら5～6台、
iPadカバーなら2台同時にセット・転写が可能です。

9.

設定した時間に達すると、
ブザーが鳴ります。
テーブルをスライドさせて、
バキュームレバーをオフにします。
※加熱時間は素材・環境・昇華インクの特性で変ります。

10.

転写加工後、土台からカバーを取り外し、
変形防止用定着台にセットして冷めるまで待ちます。

11.

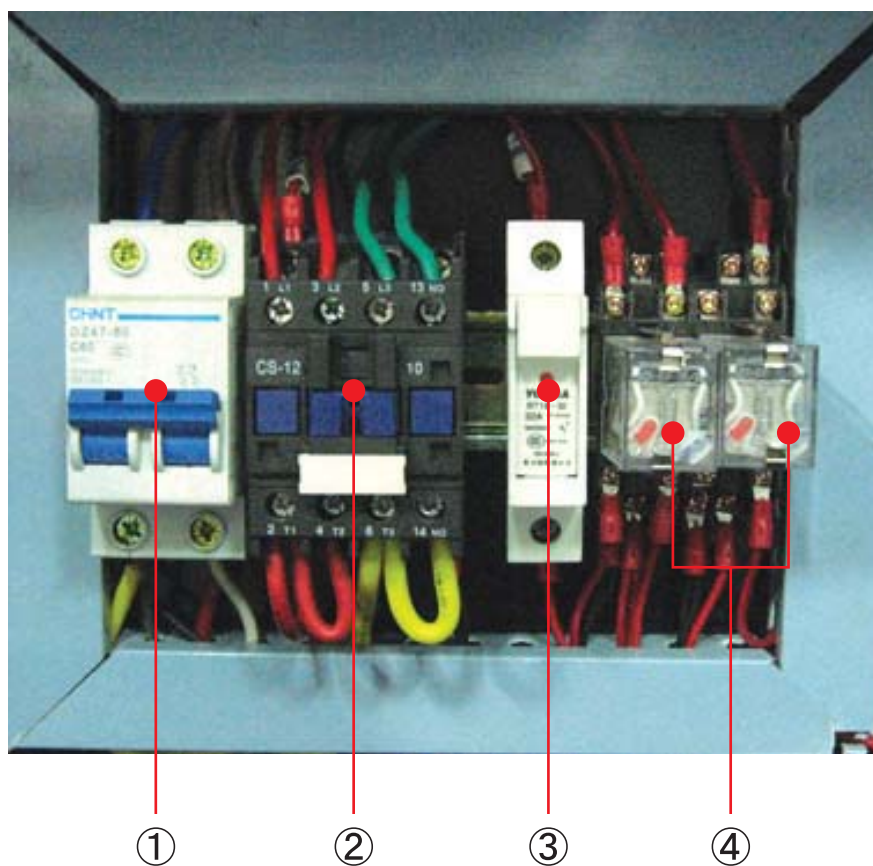
カバーが冷めたら、
転写紙を剥がして完成です。

転写時間・温度設定 目安

	加工時間	設定温度
i-phone4/5	150～200秒	135～150度
GALAXY S3	180～200秒	135～150度
i-pad	360秒	150度

	加工時間	設定温度

※時間・温度は気温や昇華インクによって変化するため、上記の数値はあくまで目安になります。

内部配線

①ブレーカー

②マグネットスイッチ

③ヒューズボックス

④リレー